

令和4年度 埼玉県川越比企地域保健医療協議会の書面審議の結果について

1 議事

(1) 議事内容 会長・副会長の選任及び各部会長の選出について

会長を丸山 元孝委員、

副会長を齊藤 正身委員及び野崎 信行委員とすることに意義はないか。

(2) 審議結果

ア 回答状況

委員数：32名

回答数：32名

※ 委員の過半数の回答があったため、会議成立とみなすこととします。

イ 結果

「異議なし」と回答した委員数 32名

「別の意見あり」と回答した委員数 0名

以上の結果をいただきましたので、議事については提案のとおり承認されました。

2 報告

(1) 報告内容 令和3年度及び令和4年度圏域別取組の取組状況について

(2) 意見概要

- ① 保健所などの体制について、非常に多くの施策を多くの関係機関と連携して実施されている。さらに、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査など多くの時間と手間がかかる業務もある。これだけの業務を行うのに、保健所などの職員の人数は足りているのか。
- ② 取組項目の記載について、当初予算と決算の情報を記載するとわかりやすいと思う。各施策の重要性は分かるが、費用対効果を考えると必ずしも妥当でないところ、さらにはもう少し予算をつけた方がよい項目もあるのではないか。市町村の中では議論されているのかもしれないが、今後の事業展開を考えると、関係者にも情報提供があっても良いと思う。また、市町村ごとの予算の配分が記載されていると、各市町村がどの施策に力

- を入れているのかも分かり、各地域の特徴への理解も進むのではないか。
- ③ 各施策を実際に受けている市町村の満足度はどうなのか。各々アンケートなどを取っているように思われるが、それらの資料も表の中に乗せた方が良いのではないか。
 - ④ これらの項目をこれだけの体裁にまとめる作業は大変であったと思われる、ご尽力に御礼申し上げます。一方、項目数があまりにも多く、記載が簡潔になっているため、十分に内容を理解できないのではないか。実施機関において細かい資料が作成され、実施機関と保健所間で十分検討はされているとは思いますが。
 - ⑤ 取組項目の自己評価については、どこも少し厳しいように感じた。しかし、PDCAサイクルを回すという意味では、厳しい評価をした方が良いのではないかと思う。
 - ⑥ 新型コロナウイルス蔓延防止対策も落ち着き、次年度からは本格的に地域の保健活動を再開し、地域住民の健康づくりに尽力されることを期待する。
 - ⑦ 今回の取組はコロナ禍の中での厳しい状況で実施され、ご苦労等多々あり大変だったと思われ、心より感謝したい。
令和5年度は、あらゆる縛りが軽減されてきたので、川越比企地区全体で、年1回、取組の一つ「生活習慣の改善」を含む、健康づくりや「歯科口腔保健」の大切さなど、一般の方々に向けての講演等をできるといいと思う。

なお、②及び③の御意見につきましては、今後の「圏域別取組」更新時に反映できるよう、記載方法の改善等を進めて参ります。